

調査事例紹介：その34

大仏と牛頭天王



豊中市立図書館には、毎日いろいろな調査の依頼が届きます。

そのうちの一部をご紹介します。

Q. 東大寺の大仏は、台座だけが世界遺産に指定されているというのは本当か？

A. 『ユネスコ世界遺産年報 1999』に、世界遺産リストに登録された「古都奈良の文化財」は、奈良市域北部に所在する 8 箇所の遺産から構成される、と記載あり。

『世界遺産年報 No.15(2010)』にも、「構成資産は東大寺、興福寺、春日大社、春日山原始林、元興寺、薬師寺、唐招提寺および平城宮跡の 8 か所となっている」との記載があり、東大寺の大仏様の台座だけが世界文化遺産に指定されているということはない。

Q. 市内に原田神社などともともと牛頭天王を祀っていた神社がいくつかあると思うが、それらの神社のもともとの名前分かる資料がないか？

A. 牛頭天王、桜墓、桜塚神→原田神社（豊中市岡町）

葛上神祠（くずかみしんじ）→牛頭天王→八坂神社（豊中市熊野町）

牛頭天王社→椋橋神社（豊中市庄本）

牛頭天王祠→春日神社（豊中市利倉）『新修豊中市史 2 巻及び 7 巻』

この事例について詳しく知りたい方は、豊中市立図書館のサイトの「レファレンス事例をさがす」のページから、フリーワード「東大寺の大仏」、「牛頭天王」で検索してみてください。